

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。  
 この度、下記の検査項目につきまして、外注委託先より検査内容変更の連絡がございましたので  
 ご案内申し上げます。  
 先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

( 記 )

【項目名】: 下記の一覧表をご参照ください。

【変更日】: 平成29年4月1日(土)受付分より

【変更内容】:

コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
1338	アルベカシン	検査方法	ラテックス凝集比濁法	同左
		基準値	治療有効濃度 ピーク値:15.0~20.0 トラフ値:1.0~2.0未満	治療有効濃度 ピーク値:15.0~20.0 トラフ値:2.0未満
		報告単位	μg/mL	同左
		報告範囲	0.5未満~300.0	0.5未満~最終値
1356	テイコプラニン	検査方法	ラテックス凝集比濁法	同左
		基準値	治療有効濃度 トラフ値:15.0~30.0	治療有効濃度 トラフ値:10.0~30.0
		報告単位	μg/mL	同左
725	テオフィリン	検査方法	ラテックス凝集比濁法	同左
		基準値	治療有効濃度 成人 5.0~15.0 新生児 5.0~10.0 中毒濃度25.0以上	治療有効濃度10.0~20.0 中毒濃度 25.0以上
		報告単位	μg/mL	同左
		報告範囲	2.0未満~400.0	2.0未満~最終値

※ 裏面に続きます。

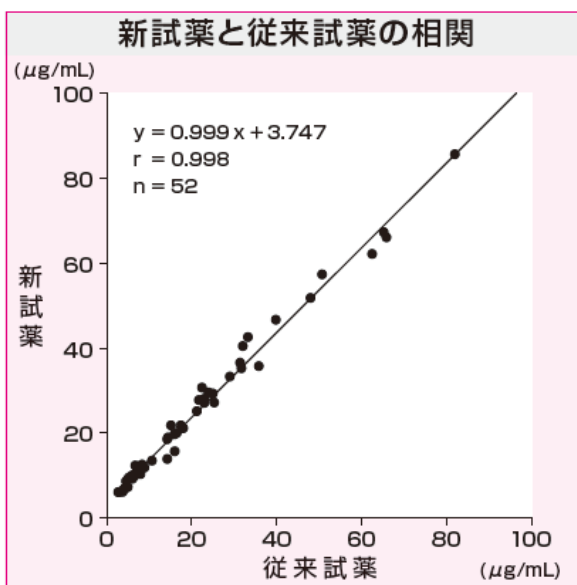
コード	検査項目名	変更箇所	(新)	(現行)
801	アセトアミノフェン	検査方法	EIA法	酵素法
		基準値	中毒濃度 4時間後 200.0以上 8時間後 100.0以上 12時間後 50.0以上	中毒濃度 4時間後 200.0以上 12時間後 50.0以上
		報告単位	μg/mL	同左
		報告範囲	5.0未満～最終値	1.2未満～最終値
2649	アミオダロン	所要日数	4～6日	6～8日
2251	レベチラセタム	所要日数	4～5日	4～6日

### 【変更理由】:

- アルベカシン、テイコプラニンの治療有効濃度や中毒濃度につきまして、日本化学療法学会・日本TDM学会のガイドライン記載値に準拠させていただきます。この変更に伴い、基準値、報告範囲を変更させていただきます。
- テオフィリンの治療有効濃度や中毒濃度につきまして、日本アレルギー学会のガイドライン記載値に準拠させていただきます。この変更に伴い、基準値、報告範囲を変更させていただきます。
- アセトアミノフェンは従来試薬販売中止のため同等の性能を有する同一メーカーの改良試薬に変更させていただきます。この変更に伴い、検査方法、基準値(中毒濃度)、報告範囲を変更させていただきます。
- アミオダロン、レベチラセタムは測定スケジュールを見直し、所要日数を変更させていただきます。

### ■ 新試薬と従来試薬との相関図

#### ● アセトアミノフェン



(BML検討資料)